



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,295	18.2	71		75		78	
2022年3月期第2四半期	1,584	16.6	46		41		40	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 96百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 39百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	8.34	
2022年3月期第2四半期	4.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	1,814	438	24.2	46.33
2022年3月期	1,794	534	29.8	56.50

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 438百万円 2022年3月期 534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	7.7	220	39.4	200	29.4	150	31.5	15.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	9,456,500 株	2022年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,004 株	2022年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	9,455,496 株	2022年3月期2Q	9,455,496 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階へ移行が進められる中、各種政策の効果等により持ち直していくことが期待されておりますが、原材料価格の上昇や急激な円安進行等により景気への影響が懸念され、先行きは依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売、並びにAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,295百万円（前期比18.2%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業利益46百万円）、経常損失は75百万円（前年同期は経常利益41百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第2四半期 (連結)	前第2四半期 (連結)	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	495	393	102	26.0%
サービス事業	749	1,070	△321	△30.0%
ECソリューション事業	50	120	△69	△57.7%
調整額	—	—	—	—
売上高	1,295	1,584	△288	△18.2%
C&S事業(*)	63	△14	77	—
サービス事業	39	221	△182	△82.2%
ECソリューション事業	△26	△15	△10	—
調整額	△148	△145	△3	—
営業損益	△71	46	△118	—
経常損益	△75	41	△116	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△78	40	△119	—

(*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

前期にプロジェクト損失を計上した反動により増収増益となりました。売上及び営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は495百万円（前年同期比26.0%増）、営業利益は63百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズや無人精算機向けの決済ソリューションの開発及び販売、並びにマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist（マイ・ベリフィスト）」及びAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

前期に「Incredist」の大型納品があった反動により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は749百万円（前年同期比30.0%減）、営業利益は39百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

大型案件の開発スケジュールが遅延し、プロジェクト損失を計上したため、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は50百万円（前年同期比57.7%減）、営業損失は26百万円（前年同期は営業損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ19百万円増加し、1,814百万円となりました。主な増減要因は、売掛金及び契約資産の減少（154百万円減）、現金及び預金の増加（135百万円増）及び前渡金の増加（33百万円増）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ115百万円増加し、1,375百万円となりました。主な増減要因は、社債の増加（188百万円増）及び未払消費税等の減少（83百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ96百万円減少し、438百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（78百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月20日の「2022年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,235	811,261
売掛金及び契約資産	460,666	306,657
商品	183,943	191,542
原材料	60,162	77,442
仕掛品	9,891	6,260
前渡金	203,363	236,442
その他	50,762	42,039
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	1,644,023	1,670,647
固定資産		
有形固定資産	58,737	53,547
無形固定資産	9,440	8,412
投資その他の資産	82,424	81,408
固定資産合計	150,603	143,368
資産合計	1,794,626	1,814,015
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,593	104,365
短期借入金	24,822	24,000
1年内償還予定の社債	136,000	168,000
契約負債	261,307	345,161
未払消費税等	83,589	—
未払法人税等	47,447	10,436
受注損失引当金	36,900	4,600
製品保証引当金	25,900	28,600
その他	37,286	39,209
流動負債合計	752,847	724,373
固定負債		
長期借入金	353,332	341,332
社債	130,000	286,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	3,500	3,500
固定負債合計	507,536	651,536
負債合計	1,260,383	1,375,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,856,925	△1,935,807
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	542,543	463,662
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,300	△25,555
その他の包括利益累計額合計	△8,300	△25,555
純資産合計	534,243	438,106
負債純資産合計	1,794,626	1,814,015

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,584,130	1,295,615
売上原価	1,194,645	956,783
売上総利益	389,484	338,832
販売費及び一般管理費	343,176	410,756
営業利益又は営業損失(△)	46,308	△71,924
営業外収益		
受取利息	2	8
為替差益	5,188	7,213
助成金収入	3,654	—
その他	659	775
営業外収益合計	9,505	7,997
営業外費用		
支払利息	11,378	1,240
支払手数料	3,067	10,419
その他	0	—
営業外費用合計	14,445	11,659
経常利益又は経常損失(△)	41,368	△75,586
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41,368	△75,586
法人税、住民税及び事業税	1,139	3,295
法人税等合計	1,139	3,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,228	△78,881
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,228	△78,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	40,228	△78,881
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△853	△17,254
その他の包括利益合計	△853	△17,254
四半期包括利益	39,374	△96,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,374	△96,136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	41,368	△75,586
減価償却費	12,556	14,067
支払利息	11,378	1,240
売上債権の増減額(△は増加)	373,213	154,008
棚卸資産の増減額(△は増加)	278,046	△21,304
前渡金の増減額(△は増加)	△285,519	△33,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,335	4,771
契約負債の増減額(△は減少)	10,126	83,853
その他	△46,957	△96,829
小計	365,877	31,141
利息及び配当金の受取額	2	8
利息の支払額	△11,378	△1,240
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	40,954	△40,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	395,456	△10,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,414	△4,811
無形固定資産の取得による支出	△360	△1,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,774	△6,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	140,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,965	△12,822
社債の発行による収入	—	242,604
社債の償還による支出	△62,000	△62,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,965	167,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,383	△16,337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	250,100	135,026
現金及び現金同等物の期首残高	375,721	676,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	625,822	811,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	393,309	1,070,759	120,060	1,584,130	—	1,584,130
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	393,309	1,070,759	120,060	1,584,130	—	1,584,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	393,309	1,070,759	120,060	1,584,130	—	1,584,130
セグメント利益又は損失(△)	△14,540	221,767	△15,897	191,329	△145,021	46,308

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
一時点で移転される財	124,323	458,401	23,576	606,300	—	606,300
一定期間にわたり移転される財	371,193	290,906	27,216	689,315	—	689,315
顧客との契約から生じる収益	495,516	749,307	50,792	1,295,615	—	1,295,615
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	495,516	749,307	50,792	1,295,615	—	1,295,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	495,516	749,307	50,792	1,295,615	—	1,295,615
セグメント利益又は損失(△)	63,159	39,550	△26,162	76,547	△148,471	△71,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。